

単 元 名	フォークダンス・リズムダンス	配当時間	8 時間
単元の目標	(1) 互いのよさを認め合い、協力して練習や発表をしようとする。 (2) 自分やグループの特徴を生かした踊りに取り組んだり、練習や発表の仕方を工夫したりすることができる。 (3) 軽快なリズムにのって踊ったり、地域や世界の踊りを身につけて踊ったりして、みんなで踊りを楽しむことができる。		
単元を構想する上での留意点	フォークダンスやリズムダンスは、自分の心と体を解放し、友だちとかかわり合って踊ることが楽しい運動である。本単元は1時間の授業でこの2つの運動を扱う。前半はリズムダンスを行い、軽快なロックやサンバのリズムにのって弾んで踊る体験を中心に、友だちと自由にかかわらせる。一つの曲に振り付けをして発表するのではなく、つい踊りだしてしまうような活動を大切にしていける。後半はフォークダンスを行い、地域に伝わる踊りや世界の代表的な踊りを身につけて、みんなで楽しく踊って交流する。また、踊りを通していろいろな地域や世界の文化に触れることができるようにする。		
単元展開例			
準 備	リズムダンス用の軽快な曲 ロック：安室奈美恵「Try me」、V6「Be yourself」 サンバ：ザ・ブーム「風になりたい」、ロスデリオ「マカレナ」 ラップ：プリンス「Race」 レゲエ：ダイアナ・キング「Shy Guy」、インナーサークル「ラブ ガールズ」 フォークダンス指導用ビデオ、フォークダンス用の曲、フォークダンスの踊り方の解説図、カセットCDプレーヤー など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 フォークダンスやリズムダンスの学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 o 学習のねらいや進め方を知る。 いろいろなリズムで自由に踊ったり、いろいろな国のフォークダンスを踊ったりして楽しもう o 学習資料の活用の仕方を理解する。 o 各国のフォークダンスの特徴を知る。 ・コロブチカ（ロシア） ・マイムマイム（イスラエル） ・グスタフスコール（スウェーデン） ・バージニアリール（アメリカ） ・ソーラン節（日本）など o どんなフォークダンスを踊ってみたいか話し合いフォークダンス用のグループ作りをする。 o 既習曲をみんなで踊って楽しむ。 2～4 いろいろなリズムで自由に踊ったり、グループで選んだフォークダンスを踊ったりして楽しむ。 （ねらい1） o 軽快なロックやサンバ、ラップ、レゲエなどのリズムにのって友達と簡単な動きで踊る。 ・みんなで車座になって、教師のまねをしてリズムにのる。（手拍子→隣の友達の手や膝などにタッチ） ・スキップや駆け足などで移動しながら、8拍目にタイミングを合わせて、近くの人とタッチをする。（両手と両手→肩と肩→お尻とお尻）		・第2時以降は、前半はリズムダンス、後半はフォークダンスについて学習することを知らせる。 ・各国のフォークダンスの特徴がつかみやすいようにビデオや解説図を準備する。 ・ステップや組み方の難易度を考慮し、感じの異なった踊りを用意する。 ・地域で親しまれている民謡や日本の代表的な民謡の中からも選択できるようにする。 ・踊ってみたいフォークダンス別にグループを作る。 ・空間を思い切りかき回す感じで動かせる。 ・おへそを中心に動かすようにさせると弾むような感じが出る。 ・動きをそろえることや動きを制限することなく、児童の自由な動きや、自由に動ける雰囲気や大事にする。 ・軽快なロック、サンバ、ラップ、レゲエなどの曲を児童の実態に合わせて準備す	

・教師の動きをまねて踊る。 ・リーダーの動きをまねて踊る。 ・2人組やグループになって、リーダーを交代して踊る。 ○グループで選んだフォークダンスのステップやパートナーとの組み方を調べて踊る。 ・踊り方を調べる。 ・音楽に合わせて踊る。 ○反省し、まとめをする。 ・踊り方の工夫 ・友達の踊り方のよさ など 5～8 好きな音楽のリズムで踊り方を工夫して楽しんだり、新しく覚えたフォークダンスをお互いに教え合ったりして、踊って楽しむ。(ねらい2) ○ロック,サンバ,ラップ,レゲエなどの曲の中から自分の好きな曲を選んで踊る。 ・1人で ・2人組で ・グループで ○それぞれのグループのフォークダンスをお互いに教え合い,クラスみんなで踊る。 ・各グループで練習したフォークダンスを発表する。 ・互いに教え合い,みんなで踊って楽しむ。 ○反省し、まとめをする。 ・気に入ったリズムダンス ・各国のフォークダンスのよさ など ○第8時は単元のまとめもする。	る。 評 だれとでも仲よく踊る活動を通して「関心・意欲・態度」を評価する。 ・新しい曲の踊り方をビデオや解説図などの資料を使って、グループで協力して調べるよう助言する。 ・特にポイントになるステップや体さばきについて指導する。 ・曲別に踊る場所を分け、それぞれにカセットCDプレーヤーを準備する。 ・リズムにのって踊る友だちのよい動きを取り入れながら自分の踊りを工夫するよう助言する。 ・毎時1～2グループのフォークダンスを発表させ、その踊り方を学級全員で踊れるようにさせる。 ・各グループが発表したフォークダンスの特徴に気付かせる。 評 踊り方を工夫して楽しむ活動を通して、「思考・判断」「技能」を評価する。 ・感想の発表や自己評価などをさせる。
--	--